

機密情報 どうやって守る？

組織の機密情報を守るのは、特別な技術ではなく、従業員一人ひとりの意識です。たった一つの不注意が組織全体に取り返しのつかない被害を与えるかもしれません。「自分だけは大丈夫」という思い込みを捨て、以下のガイドラインを徹底しましょう。



パスワードは命綱

パスワードは、不正アクセスから情報を守るもっとも基本的で強力な防壁です。パスワードはしっかり管理しましょう。

ガイドライン:

- ・「書かない」: 付箋やメモに残さない
- ・「言わない」: 誰とも共有しない
- ・「使い回さない」: 同じパスワードを使わない

隙を見せない情報管理

「これくらいなら大丈夫」という油断が組織全体を危険にさらすことがあります。

ガイドライン:

- ・ 公共の場では機密情報に関する会話を控える
- ・ 離席時や退社時は、重要書類を放置しない
- ・ パソコンの画面ロックはもちろん、退室時のドアや窓の施錠を習慣化する



違和感を見逃さない警戒心

サイバー犯罪者は、感情を巧みに利用して機密情報を聞き出そうとします。

ガイドライン:

- ・ 知っている人物からの連絡でも、普段と違う連絡手段や急な要求には注意する
- ・ 相手が上司や同僚を名乗っていても、不審に感じたら正規のルートで本人に確認する

情報漏えいを防ぐカギは、従業員一人ひとりの意識にあります。
「自分が組織を守る」という自覚を持ち
組織の安全と信頼をともに支えましょう。